

総務文教委員会

本委員会では「地球温暖化防止対策について」本市の取り組みの現状と課題の把握に努め、さらに都市事例調査も実施し、調査を進めて参りました。

■温暖化防止は

実効性のある対策が必要

温室効果ガスの排出は、市民の日常生活や、事業活動など、あらゆる社会活動に起因する事から、日常的な環境対策行動に結びつく推進体制が重要であり、実効性のある対策に向け何が必要であるかという点を論点に調査を進めて参りました。

■地球に優しい行動は

経済にも優しい

都市事例調査で訪れた埼玉県坂戸市で設置されていたハイブリッド街路灯の電源は風力発電と太陽光発電で、光源は発光ダイオードが使用されております。温室効果ガスの排出量の抑制効果が高い事と、光源交換の間隔が長く交換回数が減るなど先進

的な取り組みであります。

日常的な資源の節約行動と合わせて新技術の導入は長期的に見ると費用を抑える事が出来、地球に優しい行動は経済にも優しいと言えます。

■付帯意見は3点（要約）

- ①計画に基づき推進体制の強化と実効ある運用を図ること。
- ②計画の進捗状況や結果の公表と啓発活動の強化。
- ③新技术の導入や本市に適した自然エネルギーの活用について調査研究を図ること。

月までの紹介患者入院件数は268件で、そのうち開放型病床を利用したのは3件にとどまっている。委員会では、もう少し利用が多いものと予測していた。

今後は、現在実施している開放型病床の制度を継続する中で、利用しやすい制度の実現に向けて、行政はじめ関係機関との連携に努力されたい。

保健福祉委員会

■利用しやすい制度を求め結審

保健福祉委員会より、事務調査第4号「開放型病床について」の調査の経過と結果について御報告申し上げます。



飯山市庁舎前にて

■本庄市の「赤ちゃんの駅」

本庄市が所在する埼玉県では「日本一の子育て県」の実現をめざしている。赤ちゃんの駅事業は、オムツの交換、赤ちゃんへの授乳・ミルクを作るためのお湯の提供、この三点が事業内容であるが、施設の都合で一部

実施の施設もある。事業する側に特別な設備を求めていない。赤ちゃんの駅は、公共・民間を合わせて88ヶ所設置されている。

■飯山の「保健補導員」制度

長野県飯山市は、高齢率30%を超えており、医療費の総額が少ない。飯山市民は、早期受診の意識が定着、診療所が住民のもとへ出向く無医地区出張診療の他、「小さな保健師」として各地域で活動する「保健補導員」制度があり、医療費の低減に繋がっていると推測。

経済建設委員会

平成20年第3回定例会において付託となつた、議案第6号「富良野市農業及び農村基本条例の制定について」審査の経過と結果について報告致します。

本条例は、将来にわたり良質な食料の安定供給が出来る農業構造の構築、農村の維持、さらには情勢の変化への対応をするため、農業に関わる者の責務役割を示し、関係者一丸となり、課題に的確に対応するために、こ